

千葉県基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
1	-	全体に関する事項	基本計画を目にした市民が、よりワクワク感を持てる内容にしてほしい。 具体的には、基本計画中の目玉施策や、その実施予定時期（第1次～3次実施計画期間中のいずれか）が記載されているとベターではないか。	ご意見のとおり、計画の推進にあたり、市民が未来のまちづくりに前向きな気持ちを持っていただくことは重要であると認識しております。 このことを踏まえ、基本計画では、市民共通の財産であり、未来に引き継ぐべき本市の特性を明示するとともに、未来のまちづくりに向けて分野横断的かつ重点的に取り組むべき4つの戦略的視点を示しています。 また、具体的な取組みについては、社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、基本計画においては主な取組みのみを例示することとしております。今後、策定する実施計画においてより具体的な事業内容等を検討して参ります。	-
2	-	全体に関する事項	広範な施策が盛り込まれており抜け漏れはないと感じたが、幕の内弁当のような印象があり、市として何に特化して他の自治体との差別化を図っていくのかが伝わりにくい。	総論5ページにありますとおり、本計画を千葉県ならではのものとするために、『千葉市の特性を活かした計画』、『みんなで共有し、みんなで取組むまちづくりの計画』などに留意して策定を進めてきたところであり、本市の特性を明示するとともに、分野横断的かつ重点的に取り組むべき戦略的視点を示すなど、「千葉県ならではの」計画となるよう努めております。 また、分野別計画において、目標達成に向けた課題を踏まえ、政策ごとに本市としての独自性を打ち出しております。 今後は、計画の概要版などを通じ、市民に広く「千葉県ならではの」を感じていただけるよう、留意して参ります。	-
3	-	全体に関する事項	「ICT」という言葉はすでに業界ではあまり使われなくなっており、世の中でもこの先数年で通用する言葉ではなくなると思われる。 「ICTの利活用」というレベルではなく、改革や仕組みの変更が伴わなければ世の中から取り残される結果となる。P33の「デジタル技術」のように、「デジタル」という言葉や類語がふさわしい。	ご意見を踏まえ、国等の定義で用いられている箇所を除き、「デジタル技術」に修正します。	○
4	-	全体に関する事項	説明動画も含め、基本計画（案）で多く使われている「本市」という言葉に違和感を覚える。基本計画（案）の作成者は市の職員であるため、「本市」とする気持ちも理解できるが、「千葉市」の方が適切ではないか。特に動画では、「本誌」や「本四（本州四国）」を連想してしまう。 千葉市民のための基本計画（案）において、「本市」は馴染まず、「他市」、「千葉県」、「日本国」に対しての「本市」という使い方ではないか。 なお、政府は日本を本国ではなく我が国と言い、千葉市民は千葉市を「本市」と言わないと思う。	本計画は、みんなで共有し、みんなで取り組むまちづくりの計画であることから、ご意見を踏まえ、前後の文脈を考慮しつつ、原則として、「本市」を「千葉市」に修正します。	○
5	-	全体に関する事項	今後、具体的な中期の計画や年度計画に落とし込む過程で、これまで協力した民間企業、大学や市民が、今後も何らかのネットワークをもって連携・協力し合ってこの計画を推進していければ好ましい。（ある程度テーマを絞りながら、継続的に年度内で意見交換できる機会や場を持つなど。）	本計画は、『みんなで共有し、みんなで取り組むまちづくりの計画』であり、市民、団体、企業、大学等、行政などまちづくりに関係する多様な担い手が、相互に連携してまちづくりを進めることが重要と考えております。 今後、本計画に基づく具体的な取組みにあたって、必要な連携について所管部局より随時募集等、ご案内をさせていただくこととなりますので、引き続きご協力くださいますよう、お願いいたします。 また、これまでも千葉市まちづくり未来研究所やコネクテッドセンターちばなど、市民・企業の皆さまとの連携に取り組んできたところであり、その成果や課題を踏まえ、引き続き取り組んで参ります。 なお、実施計画の策定に関しては、公募市民を含む附属機関での審議や市民意見募集・パブリックコメントの実施を予定しております。	-
6	-	全体に関する事項	カタカナ言葉など、行政では日常用語となっている場合でも一般市民には馴染みがない単語やフレーズがある。 一例を挙げると、「インクルーシブ」はオリパラボランティアの事前研修参加者などにとっては当たり前のフレーズだが、一般市民が「地域社会」の課題でこのフレーズを目にすると、具体的な内容が分かりにくい。 一方で、「多様性」「多様な主体」という言葉が多数出ているが、ダイバーシティは用いていない。 他にもP107を中心として、プラットフォーム、レガシー、シェアリング（エコノミー）なども一般市民には分かりづらいため、出来る限り多くの市民に分かり易くしていただきたい。 また、LGBT等に脚注があるように、言葉だけでなく補足が脚注にあっても良いと考える。	ご意見を踏まえ、本計画（案）を再度確認し、一般的に定着していない可能性がある文言を用いている場合には、当該文言に脚注を付して参ります。	○

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
7	8	第1章 はじめに 3 計画体系・計画期間	3（2）計画期間で、「本計画の計画期間は、・・・10年間です」とあるが、「第1章 はじめに」において、『この「千葉市基本計画」は10年・20年後の都市・地域社会のあるべき形を見据え』と記載し、さらに第1章2項において、『100年先を見据えた「千葉市ならではの」計画とするために』と題して、そのための留意点について記述しており、読み手に混乱が生じる。第1章の主旨は、「本計画書の対象期間は10年間だが、そのための施策等は中期的な20年後、さらには長期的な100年後を展望していかなければならない」ということでよいか。第1章の構成（10年、20年、100年の順序）を再検討していただきたい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> この「千葉市基本計画」（以下、「本計画」という。）は、 <b>100年先の未来を見据え</b> 、市民・団体・企業・大学等を含む～	○
8	11	第2章 千葉市の概況 2 千葉市のあゆみ	千葉市のあゆみにおいて、『アイデンティティ』として掲げている4つの地域資源のうち「オオガハス」だけが記述されていないため、追記した方がよい。さらに知名度を上げるため、加曾利貝塚、オオガハス、千葉氏などの「関連する区名」を追記することにより、そこを訪問する人が増える可能性がある。また、蘇我副都心について千葉市のあゆみに記載がないため、蘇我副都心構想を追記いただきたい。	「オオガハス」は、千葉市のアイデンティティを形成する重要な地域資源であり、「蘇我副都心」も千葉市の都市機能を考える上で重要な要素ですが、『千葉市のあゆみ』では、縄文から現在に至るまでの千葉市の歴史をたどるうえで、特に重要な事項を抜粋して記載しておりますので、原文のままとします。 なお、『千葉市の特性』の記述に加え、「オオガハス」については、『目指すべき区の姿』の中央区及び花見川区において、「蘇我副都心」については、『目指すべき区の姿』の中央区にそれぞれ区の主な特徴として記述しております。	-
9	23	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 1 現在の千葉市を取り巻く状況	「産業構造は、概ね全体的なバランスが取れており」とあるが、特化係数の図表での製造業の凹みは特筆すべきではないか。国際的な競争で製鉄が衰退している結果だが、それに代わる大規模な製造業に乏しいため、市外からの収入を増やすことが課題だと思う。遊休工業地帯への新工場の誘致施策や、R&Dやデジタル産業に特化するのであれば、そのような施策を必要とする。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 なお、企業誘致は市内経済を活性化するうえで重要であると認識しており、まちづくりの総合8分野『8地域経済』に、企業立地の促進や産業用地の整備を位置付けております。 <修正案> ○産業構造は、概ね <b>バランスが取れているが、特に第3次産業の比重がやや高く、製造業がやや低くなっている</b> 。 ・従業者数の特化係数を見ると、「金融・保険」、「教育・学習支援」、「学術研究」、「情報通信業」が <b>やや高く、製造業がやや低い</b> 。 ・全体として、 <b>概ね産業構造のバランスがとれていることが特徴</b> 。	○
10	29	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	企業や人が生産性を上げて母母となる収益収入は変わらず、結果として税収は上がらないため、付加価値や収益性の高い事業を増やし、収益収入を増やすことが必要である。また、「IoT、AIなどテクノロジーの積極的な活用による生産性の向上や、テレワークなど多様で柔軟な働き方の推進が必要となります。」というレベルでは、活用のための資金投入や成長は限定的であり陳腐化の恐れがあるため、市内の経済規模を拡大する項目を追加していただきたい千葉市から世界規模のスタートアップが生まれにくい環境を早急に改善する必要がある。 <追加案> ・市内のリソース連携で新たなテクノロジーの創出、高付加価値ビジネスメニューの創出、スタートアップが活動しやすい環境整備	ご指摘の箇所につきましては、本市を取り巻くマクロな社会変化と課題認識を示しており、生産年齢人口の減少を踏まえ、対応すべき課題として、テクノロジーの活用による生産性の向上等を記載しているところです。 ご提案いただきました追加案につきましては、まちづくりの総合8分野の『8地域経済』において、企業立地の促進や創業支援の強化、デジタライゼーションや脱炭素を踏まえた、アントレプレナーシップ教育など産業人材の育成、産学連携による事業創出支援変革支援といった表現により、同様の方向性をもって記述しているものと考えております。 具体的な取組みについては、実施計画において検討して参ります。	-
11	33	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	出産・子育ての前段階である結婚数の増加に向けた取組みが必要である。出会いの場がなくなり、さらに男性・女性の社会構造の変化と若年層の収入減により交際や結婚に至ることが減っていると予想されるため、安心して結婚できる環境についても取り組む必要がある。 <修正案> ・安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	ご意見のとおり、社会の活力を維持するためには、出産・子育て環境の充実とともに、希望する者が自らの意思により、結婚できる環境をつくることが重要であるため、以下のとおり修正します。 <修正案> ■ <b>対応すべき課題</b> ・ <b>希望する者が安心して結婚し</b> 、出産・子育てができる環境の充実 【本文】 ・社会全体の活力を維持するため、 <b>希望する者が、経済的な不安等を解消して結婚できるようにするとともに、子どもを産み・育てたいと思う人が、安心して出産・子育てしやすい環境を整備するなど、市内外から選ばれるまちづくり</b> が必要です。	○
12	35	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	災害等リスクの増大について、別立てでもよいが「国際的な政情不安定によるリスク」を追加すべき。ミサイル等の飛来、侵入者によるNBCテロ、サイバー攻撃の恐れが現実のものになっているため、明確にすべきである。	ご意見のとおり、国際的な政情不安により安全が脅かされるリスクがあると認識しておりますが、安全保障やテロ対策は、国や警察が主体的に取り組む課題であり、地方公共団体を含めた関係機関は、今後も緊密に連携していくことが重要であると承知しております。 このため、将来のまちづくりの方向性を明らかにする本計画では触れませんが、引き続き、国や警察等と連携して取り組んで参ります。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
13	37	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	「デジタルトランスフォーメーションを推進し」が唐突な印象があり、主体が分からない。 そもそも、DXは新型コロナウイルス対策に直結しないが、DXを進めなければ旧態依然の企業が淘汰され、国内経済が縮小してしまうと考えられる。 事業のリスクへの対応が必要であり、新型コロナウイルス感染症のような未知のものが発生しても、事業が継続できるプランを持つことが重要ではないか。 <修正案> こうした課題を克服し、しなやかに質の高い社会経済を構築していくためには、医療体制の充実はもとより、 <b>企業や事業はリスクに強い変革やBCPを推進し、</b> ～	ご意見を踏まえ、企業等のリスク対応に係る記述を追加します。 <修正案> こうした課題を克服し、しなやかに質の高い社会経済を構築していくためには、医療体制の充実はもとより、 <b>企業等がリスク対応力の強化を図るほか、デジタルトランスフォーメーションを幅広く推進し</b> ～	○
14	38	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	対応すべき課題に「新しく開発されるインフラの整備」を追加すべき。 市内への新しい通信技術の展開が早ければ早いほど、新しい技術が早く浸透し、そこから新しいテクノロジーの創出へとつながる。 また、インフラが早く整備されれば、新しいテクノロジーのスタートアップの活動の場が増えると考えられる。	ご意見のとおり、テクノロジーの進展にあわせ、新しく開発されるインフラを整備することは重要ですので、以下のとおり修正します。 <修正案> ・そこで、市民一人ひとりが自分に最適な暮らしを実感でき、多様な主体が地域課題の解決や新たな価値の創造に取り組むことができる社会の実現に向けて、テクノロジーの効用を最大限発揮させる必要があり、そのためには、幅広い主体の連携によるスマートシティの推進とともに、すべての市民がデジタル化の恩恵を享受できる <b>よう、ソフト・ハード両面から</b> 環境を整備することが求められています。	○
15	43	第4章 まちづくりの基本方針 1 みんなで目指す未来の千葉市	「みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市」は、このままだと浸透しないのではない。 輝きたくない人や、まだ輝けない人もいる。でも、いつかどこかでチャレンジや努力が光り、チャレンジしたら輝きたくなくても光れるまち。そんな希望があるような言葉にはいかがか。いつか何かにチャレンジしたいと考える人はいると思うので、そのような環境があるまちが良い。 <修正案> チャレンジの都市・織りなす自然千葉市	ご意見にありますように、本計画では一人ひとりの多様性を活かすことを重視して策定を進めてきたところであり、ここでいう「みんなが輝く」とは、目指す先の姿のあり様を定めるものであり、市民が一人ひとりの個性を活かし、自分らしく活躍できるまちを目指すという思いが込められています。 そのため、原文のままとさせていただきますが、『みんな目指す未来の千葉市』に込めた思いを市民にご理解いただけるよう、今後とも努めて参ります。	-
16	44	第4章 まちづくりの基本方針 2 未来のまちづくりに向けた戦略的視点	戦力的視点の1つ目に「持続可能なまちづくり」を位置づけたことがとても良い。「先人たちから悠久の時の流れの中で受け継がれた『自然と共生する』精神を活かし、市民が将来にわたり、持続可能でよりよい社会で暮らせるよう、SDGsの達成に向けて、脱炭素化の推進をはじめとした様々な取組みを行います。」と宣言されているため、今後、市の様々な施策を実施する際に、この視点を第一に進めていただきたい。近ごろの社会は便利さや効率を重視しすぎて、自然との共生や持続可能性をないがしろにしがちである。	『100年先に引き継ぐ持続可能なまちづくり』は、未来のまちづくりに向けた4つの戦略的視点の一つであり、これを含めた『まちづくりの基本方針』に基づき、本市は、総合的かつ計画的なまちづくりを推進して参ります。	-
17	44	第4章 まちづくりの基本方針 2 未来のまちづくりに向けた戦略的視点	「ゆとり」はこの先持続しないのではないか。企業は生産性を追求し、住民は年齢ステージごとの収入不安と物価上昇に苦しみ、今の生活をどのように維持するかを考えることに終始すると思われ。 余裕につながるゆとりではなく、「いま生きている環境の中でどのように幸福を感じる」ことが重要ではないか。 そのため、戦略的視点(2)はこれから社会に出る世代に実現できない約束をすることとなるので、見直しが必要と考える。	ご指摘のような状況を背景に、すでに経済的・物質的価値観から、内面的な充足を志向する方向への変化が見られることは計画に示したとおりです。 ここでいう「ゆとり」は、上記の動向を踏まえながら、本市の特性である、職住近接による「時間的なゆとり」と、日常的に豊かな自然にふれあえることができる「空間的なゆとり」を活かしたまちづくりを進めることを意図したものであり、これが市民の幸福につながる方向性であると考えていることから、原文のままとします。	-
18	45	第4章 まちづくりの基本方針 2 未来のまちづくりに向けた戦略的視点	今回の東京オリパラは、市民とほとんど接点のない閉鎖的な世界で開催されたスポーツイベントであり、市民に千葉市で開催していたという記憶はほとんどない。加えて、若い世代を中心に、テレビや新聞のメディアに触れる機会のない人は、開催自体も記憶にないと思われる。 このイベントから生み出されたものは負が多いことは事実のため、記載することを止めた方が良いのではないか。 負の成功体験から生み出されるものを期待するより、新たな常識の中で国内外との交流の道を探るほうが優先順位が高いと思われる。	本市では、ボランティアの育成やパラスポーツの普及など、東京2020大会の経験・成果を価値ある財産（レガシー）としてまちづくりに活かし、共生社会づくりに取り組んでいることから、原文のままとします。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
19	45	第4章 まちづくりの基本方針 2 未来のまちづくりに向けた戦略的視点	戦略的視点（3）において、「本市の社会・経済活動の中でも、市民一人ひとりがそれぞれの個性を活かして活躍し、つながることで、新しいサービスや価値を生み出す原動力となり、それがまた多様な人材を惹きつけるという好循環を生み出し、本市や市内企業の価値向上、さらには市民の豊かな暮らしの実現にもつながります。」とある。千葉市の中には、市民参画と協働体制がまだまだ整っていないと感じている。市民が地域の中で実現したいと思ったことを、どうやったら形にできるかを一緒に考えていける行政であってほしい。具体的には、区役所の地域振興課や、中学校区に一つずつある公民館も相談受付機能や課題解決と一緒に取り組むための体制強化を進めてほしい。	本計画は、『みんなで共有し、みんなで取り組むまちづくりの計画』として、市民、団体、企業、大学等、行政などまちづくりに関係する多様な担い手が、相互に連携してまちづくりを進めることが重要と考えており、まちづくりの総合8分野においても、『5 地域社会』の政策2『多様な主体の連携によるまちづくりを進める』を位置付けているところです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
20	47	第4章 まちづくりの基本方針 3 人口の将来展望	「人口の将来展望（総人口）」のグラフに数字の具体的な根拠を追記してほしい。冒頭に「『未来のまちづくりに向けた戦略的視点』に基づく地域社会・地域経済の活性化の取組みを踏まえた」とあるが、P27の将来人口推計との差を議論できる根拠としては乏しく、「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」の戦略が貧弱に映ってしまう。どのような戦略を立てても、第3章の将来人口推計との差が僅かであり、減少傾向が変わらないことなど、日本の人口動態の傾向を覆うことができないことを強調すべきではないか。なお、P.27においては「将来人口推計」という用語を使用しているが、P47では「基本推計」という用語を使用している。混乱をなくすため用語は統一すべき。	ご意見を踏まえ、グラフ下部に基本推計との違いに関する説明を以下のとおり追加します。また、人口の変化における『将来人口推計（千葉市）』についても、用語の統一を図るため、『将来人口推計（基本推計）（千葉市）』に修正します。 <修正案> ※将来展望：基本推計（第3章P27に記載）に地域活性化の取組みを踏まえ、合計特殊出生率の改善及び社会増を見込んだ場合	○
21	50	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	「しごと」、「くらし」の図表について、左側に「東京」とあるが、東京のおまけのようなイメージにつながり、東京と比較する視点から抜け出せていないと思われる。そのため、鉄道各線の直通も、ごく限られた部分しか実現しない。また、人や物の購入、交通の手段も東京を目指しているように思え、他の政令市は東京に限らず広域とつながりをもつことに視点を置いている。さいたま市や横浜市、川崎市のように多方向に接点がない都市かもしれないが、東京だけを目指す表記は止めた方がよい。 <修正案> 「東京圏」もしくは「東京をはじめ全国」	図表は、基幹的な道路交通や鉄道路線での大きな位置関係を模式的に示したものであり、東京以外にも東葛や内房・外房など各方面とのつながりを表示していることから、原文のままとします。	-
22	51	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	「千葉市型コンパクト・プラス・ネットワーク」について、産業を集約させる場合は一定の面積が必要となり、事業者が事業を成立させようとする、一定の面積にかける費用を下げる必要がある。また、居住コストについても同様で、皆が幕張ベイエリアや千葉駅近隣のような高層マンションを購入できれば良いが、特にロスジェネ世代以下の世代は住居費を下げるため、郊外に居住するか、中心部の狭い空間で我慢するしかない。残念ながら、行政が集積をさせようとするエリアと、事業者が求めている現実とは異なると思われる。都市構造の見直しは国内でも取り組んでいるが、成功している事例はごくわずかである。理想を追い求めるのもいいが、現実とは異なり、これにより施策からこぼれる対象が出て手遅れになる可能性があることをあらかじめ見込まなくてはいけないと思われる。	都市構造の将来像である『千葉市型コンパクト・プラス・ネットワーク』は、『みどり』『しごと』『くらし』の三つのレイヤー（基礎的な都市構造）で表現しておりますが、いずれも本市がこれまで培ってきた豊かな自然、経済をはじめとする都市機能。そして住まいをベースとして、その機能を充実していこうとするものであり、『千葉市型コンパクト・プラス・ネットワークが実現されたまちの姿』に記載のとおり、郊外部も対象とした考え方です。したがって、特定のエリアに居住機能や企業活動を大胆に集約していこうとするものではありません。	-
23	52	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	「本市では、特別史跡加曾利貝塚に象徴されるように、はるか縄文の昔から自然と共生した暮らしが営まれてきました」との記述に違和感がある。縄文時代の暮らしは自然と共生するのが当たり前であり、共生せざるを得なかった時代だと理解しているため、文章を再考してほしい。例えば、「千葉市は、特別史跡加曾利貝塚などから、はるか縄文の昔から自然と共生した暮らしを営むことができる土地柄であったことを窺い知ることが出来ます」などが適切だと思う。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> ・本市は、特別史跡加曾利貝塚に象徴されるように、はるか縄文の昔から、自然と共生した暮らしを営むことができる豊かな自然環境に恵まれてきました。	○
24	52	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	都市構造の基礎に「みどり」を位置付けたことを評価する。このような意識を広く市民に定着させるために、市長や市の職員と市民とが対話や意見交換をする機会を増やしていただきたい。計画に書いてあるだけでは、意識づけが難しいと思う。	評価をいただきありがとうございます。まちづくりの総合8分野においても、『1 環境・自然』に『自然環境の保全』や『緑の保全と創出』などを位置付けているところです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
25	53	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	2ポツ目に「・県都として集積された商業・業務・文化の諸機能の更新を促進するとともに、先端技術の導入などの研究開発～」とあるが、先端技術を導入するだけでは単なるモノマネであり、大きな成長にはつながらないのではないか。 <修正案> ・県都として集積された商業・業務・文化の諸機能の更新を促進するとともに、先端技術の開発や応用などの研究開発や～	ご意見のとおり、単に先端技術を導入するだけでなく、先端技術の実証や応用などを含めた研究開発が必要であると認識しており、導入「など」と記載しておりますので、原文のままとします。	-

千葉県基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
26	53	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	「また、農業については、・・・、医療については、・・・新事業の創出等・・・」のように、農業、医療、新事業が同一文章の中で記述されているが、都市を形成するには「しごと」は重要な要素であるため、少なくとも、図に示されているように農業と医療・新事業は別項目で記述すべきではないか。 医療とそこから派生する新事業の創出を本計画書の重点要素とし、その拠点を「蘇我副都心」としてほしい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 なお、ご指摘の箇所は、医療研究の拠点から派生する新事業を対象としていますので、医療に含めた記載としています。 <修正案> ・また、農業については、・・・拠点の形成を目指します。 ・さらに、医療については、・・・新事業の創出等を促進します。 ・加えて、国内外の・・・交通網の強化を進めます。	○
27	54	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	1 ポツ目の「都心、生活拠点のそれぞれの拠点が～」について、防災、防犯の観点から安全・安心な暮らしを目指すことも加えていただきたい。	ご意見のとおり、市民の安全・安心な暮らしを目指すことは重要ですので、以下の文章を追加します。 <修正案> ・ <u>災害など様々なリスクに対応し、安全で安心に暮らし続けられる環境の整備を目指します。</u>	○
28	54	第4章 まちづくりの基本方針 4 目指すべき都市構造	くらしの模式図を見ると、蘇我副都心—千城台—都賀駅—天台—幕張本郷—幕張新都心 を結ぶ軌道設備（新交通システム又はモノレール）を敷設して環状線とし、公共交通ネットワークを形成することが千葉市を発展させる手段だと思ふ。	モノレールの延伸については、公共交通の有識者からの見解を踏まえた再検証の結果、費用便益比などの観点から令和元年度に延伸の中止を決定しています。 まちづくりの総合8分野の『7 都市・交通』政策2『都市の力を底上げするネットワークを整備する』の施策1『持続可能な公共交通ネットワークの形成』を位置付けているところであり、持続可能で利用しやすい公共交通ネットワークの形成に取り組んで参ります。	-
29	55	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	目指すべき区の姿について、各区の「実現に向けた取組みの方向性」の内容があまりにも薄く、「いつまでに」「何を」するのが理解ができない。各区ごとのロードマップがなければ計画の意味をなさないが、具体的には何も検討されていないように見受けられる。これから検討するのであれば、市全体の基本計画を基にいつまでに各区の取組みを作成するのか記載し、検討中としてはいかがか。	『目指すべき区の姿』については、本市の特性や戦略的視点、都市構造などまちづくりの基本方針を踏まえつつ、エリアごとの特徴を活かした充実を図る観点から整理したものです。 各区で展開する施策については、基本的に第6章の『まちづくりの総合8分野』で記載することとしており、『目指すべき区の姿』では、特に区の特徴を活かし伸ばす観点からの記載に絞っております。 なお、具体的な事業内容については、実施計画等で検討して参ります。	-
30	55	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	若葉区と緑区の目指すべき区の姿について、違いが分かりにくいと感じる。	ご意見のとおり、若葉区と緑区はともに豊かな自然を有し、農業が盛んであるなど共通する特徴が多くありますが、若葉区の加曽利貝塚や緑区の昭和の森など、それぞれの区が有する地域資源を最大限活用し、特徴を活かしたまちづくりを進めて参ります。	-
31	58	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	千葉氏は「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」の4つの地域資源の一つであるため、主な特徴の一つとして、千葉氏ゆかりの妙見本宮千葉神社（月星紋）や千葉寺などを簡明に記載してほしい。	神社仏閣は、本市の歴史・文化的側面から重要な地域資源として認識しておりますが、市内各区・各地に多数かつ多様な神社仏閣がある中で、個々の視点（たとえば千葉氏関係、歴史的に古い、○伝説があるなど）によって対象が変わり、主な特徴として絞り込むことが難しいことから、原文のままとします。 なお、『千葉氏』については、『千葉市のあゆみ』に加え、『目指すべき区の姿』の中央区において、区の主な特徴として記述しております。	-
32	59	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	千葉みなどの公園緑地について、愛称が「さんばしひろば」と決定したため記載すべきではないか。 これまで色々な人が様々な呼称を使っていたものを、関係者が調整を図って決定した名称なので、ぜひ使用していただきたい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> 千葉みなど駅の西側の千葉中央港地区周辺には、千葉ポートタワーや千葉ポートパーク、県立美術館など、文化・レクリエーション施設が集積するほか、旅客船さん橋や「 <u>さんばしひろば</u> 」が整備され、旅客船の運航やイベントが開催されるなど、本市の観光スポットのひとつとなっています。	○
33	62	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	「本区は、市北西部に位置し、6区の中では2番目に小さな区」とあるが、他区と同様に「面積」が2番目であることを表示した方がよい。 また、千葉氏十六代廟所であることを示す五輪塔がある大日寺のことも記載してほしい。	稲毛区の面積については、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 また、神社仏閣は、本市の歴史・文化的側面から重要な地域資源として認識しておりますが、市内各区・各地に多数かつ多様な神社仏閣がある中で、個々の視点（たとえば千葉氏関係、歴史的に古い、○伝説があるなど）によって対象が変わり、主な特徴として絞り込むことが難しいことから、原文のままとします。 <修正案> 本区は、市北西部に位置し、 <u>面積</u> は6区の中では2番目に小さな区ですが、人口は中央区、花見川区に続く第3位になっており、住宅の集積が進んでいます。	○

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
34	62	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	放射線医学総合研究所は、2016年に「量子科学技術研究開発機構」に組織統合され、千葉市が誇れる高度な研究施設も設置されていることから、表記を見直してほしい。 <修正案> ・区内には、千葉大学、千葉経済大学、敬愛大学などの高等教育機関が集積するとともに、量子科学技術研究開発機構（量子医科学研究所、放射線医学総合研究所、量子生命科学研究所、QST病院）も立地しており～	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> ・区内には、千葉大学、千葉経済大学、敬愛大学などの高等教育機関が集積するとともに、量子科学技術研究開発機構が立地しており、若者が集い学ぶ場、また研究開発の場となっています。	○
35	68	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	「京葉線の新たな駅の開業に伴い、幕張新都心全体のさらなる発展が期待されます。」とあるが、来年春に開業予定の「幕張豊砂駅」の固有名詞が計画全体を通して1回も出てきておらず、幕張豊砂駅の開業は千葉市（美浜区）にとってあまり力の入っていない、他人事のような印象を受ける。「幕張豊砂駅」の名前を記載し、駅周辺の取組の方向性について千葉市がどのように考えているのかが伝わるようにすべき。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 なお、幕張豊砂駅周辺の取組の方向性は、まちづくりの総合8分野『7 都市・交通』政策1『持続可能で魅力あるまちづくりを進める』施策2『3都心などの魅力向上』に記載の『幕張新都心まちづくり将来構想』において整理をしているため、原文のままといたします。 <修正案> 加えて、京葉線の幕張豊砂駅の開業に伴い、幕張新都心全体のさらなる発展が期待されます。	○
36	68	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	主な特徴2ボツ目中段の「また、幕張新都心は高速バスで東京都心や成田国際空港、東京国際空港（羽田空港）に直結するなど、世界・海外とのアクセス至便の優位性を有しています。」の記述に違和感がある。高速バスで都心に行く便は利用が限定的であり、京都や大阪、南房総方面の便もある。 <修正案> 「また、幕張新都心は、高速バスで東京都心や成田国際空港、東京国際空港（羽田空港）に直結するなど、国内だけでなく海外とのアクセス至便の優位性を有しています。」	ご意見のとおり、幕張新都心に発着するバスは東京に限られませんので、以下のとおり修正します。 <修正案> また、幕張新都心は、高速バスで東京都心や成田国際空港、東京国際空港（羽田空港）に直結するなど、国内だけでなく海外とのアクセス至便の優位性を有しています。	○
37	68	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	海岸線の歴史をもう少し詳しく記述していただきたい。 海岸線の変遷が産業の変遷であり、千葉市発展の歴史だと思う。昔の海岸線は現在の国道14号・357号にあり、現中央区・稲毛区・花見川区の住民は漁業を営んで生活していたことが、葛飾北斎の富嶽三十六景登戸浦からも分かることを日本初の民間飛行場開設などを盛り込んで海岸線の歴史を記載してほしい。 また、加曽利貝塚遺跡からは縄文時代の海岸線の位置を推測できる。海辺は、「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」の4つの地域資源の一つであり、「ジブングト」は地域の歴史に関心を持つことから始まると思う。	『目指すべき区の姿』は、各区の歴史や特徴を最大限活かすことにより、区ごとに将来像を明らかにする項となっています。海岸線の歴史は複数の区に共通して関連のある事項であるため、『目指すべき区の姿』ではなく、第2章の『千葉市のあゆみ』にまとめて記載しています。	-
38	69	第4章 まちづくりの基本方針 5 目指すべき区の姿	実現に向けた取組みの方向性の3ボツ目、「多くの外国人市民が暮らすまちとして、国際教育や地域交流などによる相互理解の醸成や、社会参画を促進し、多様性を活かしたインクルーシブなまちの実現に先導的な役割を果たします。」について、他区でも多くの外国人が居住している。美浜区のように一緒に学べるコミュニティがあれば良いが、他区では既に外国人が独自にコミュニティを形成しているケースもあり、横浜市いちよう団地のように多国籍コミュニティに対応しなげなければならないことも想定すべき。 基本計画に多様化する住民構成について触れていないのは、現実から目を背けているように思われる。	ご指摘の箇所については、美浜区の特徴を踏まえ特に記述したのですが、市全体として外国人市民が暮らしやすい環境づくりは重要と考えております。 外国人市民は、第3章「生産年齢人口の減少」の『年齢4区分別外国人人口の推移』に関する図表のとおり増加傾向にあり、今後は生産年齢人口の減少に伴い、地域社会の担い手などとしての期待が高まっていくものと認識していることから、対応すべき課題として『多種多様な人材が活躍できる環境づくり』を位置付けるとともに、第6章まちづくりの総合8分野『5 地域社会』で施策2『多文化共生社会の実現』を位置付けるなどしております。 就労の場に限らず、社会全体としてインクルーシブなまちづくりを推進して参ります。	-
39	70	第4章 まちづくりの基本方針 6 まちづくりを進める力	1ボツ目「生産年齢人口の減少により、官民間わず担い手不足が深刻化する中～」、2ボツ目「一方、人口減少・少子高齢化に伴い、地域課題が多様化・複雑化する中～」について、少子高齢化だけが主要因ではないと思われる。 世帯人数の減少、生活スタイルの多様化、生活価値観の変化、外国人の増加なども大きな要因であるため、本質から目を背けず記載いただきたい。	ご意見のとおり地域課題の多様化・複雑化は人口減少・少子高齢化だけが原因ではありませんので、以下のとおり修正します。 <修正案> ・一方、人口減少・少子高齢化、価値観や生活スタイルの変化などに伴い、地域課題が多様化・複雑化する中、地域、社会・経済及び行政サービスにおいて、既存の役割分担にとらわれない、柔軟な連携を図っていく必要があります。	○

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
40	70	第4章 まちづくりの基本方針 6 まちづくりを進める力	まちづくりを進める力の取組みは重要かつ難しい課題であり、課題・対策の一般論だけでは「力」として不足である。 課題として、例えば将来予想も含めた千葉市の人口動態、町内自治会の組織率変化、ボランティア参加率などの実態を具体的な数値で概略を示すことが必要だと思う。次に、現状が今後も続くような問題が生じるのかを具体的に記述していただきたい。例えば、行政サービス（安全・安心からインフラ整備・ゴミ収集まで）が低下することなどを記述することが必要である。 そして、現状、課題に向けてどのような対策を行っているのかを記述することも、市民、団体、企業及び大学等からの連携・協力を得るために必要である。	第4章『まちづくりの基本方針』は、千葉市の特性や重要な社会変化を踏まえた、まちづくりの基本方針を記載しており、『まちづくりを進める力』においても、まちづくりの主体に関する基本的な方向性を示しています。 人口動態の変化等は第3章に、『まちづくりの基本方針』を踏まえた施策展開については第6章にそれぞれ記載しているため、原文のままとします。	-
41	71	第5章 計画の推進にあたって 1 将来にわたり持続可能な行財政運営	3パラ目の文章について、民間活用の前後の文脈が上手くつながっていないと感じるため、次のとおり修正してはどうか。 <修正案> また、質の高い行政サービスを持続的に提供し、多様な行政ニーズに応えるため、行政のデジタル化を推進するとともに、施設の管理運営の効率化や計画的保全による維持管理コストの縮減、利用状況を考慮した施設総量の縮減、更新時における施設規模の適正化や集約化・複合化の検討など、まちづくりの視点と経営的な視点に立った公共施設の適正管理や民間活用を推進します。	ご意見を踏まえ、以下の通り修正します。 <修正案> また、質の高い行政サービスを持続的に提供し、多様な行政ニーズに応えるため、行政のデジタル化を推進するとともに、 <b>民間活用を含めた</b> 、施設の管理運営の効率化や計画的保全による維持管理コストの縮減、利用状況を考慮した施設総量の縮減、更新時における施設規模の適正化や集約化・複合化の検討など、 <b>資産経営とまちづくり双方</b> の視点に立った公共施設の適正管理を推進します。	○
42	71	第5章 計画の推進にあたって 1 将来にわたり持続可能な行財政運営	「民間活用やまちづくりの視点を含む経営的な視点に立った公共施設の適正管理」と記載しているが、「経営的な視点に立った」は不要ではないか。民間企業は売上高や利益という指標で経営するが、市役所にはコストという指標は存在するものの、成果の指標を数値化することは難しい。加えて、施設等の民間活用について述べており、いわゆる「経営的要素」を視野に入れているため、改めて「経営的視点」と大きめに表現する必要はないと思う。 また、末尾に「さらに、本市の現状や将来展望に関して、市民への積極的な情報共有を図るなど」とあるが、「市民への積極的な情報共有」は、「市民への積極的な情報発信」または「市民との積極的な情報共有」に変更した方がよい。	ご意見を踏まえ、以下の通り修正します。 <修正案> また、質の高い行政サービスを持続的に提供し、多様な行政ニーズに応えるため、行政のデジタル化を推進するとともに、 <b>民間活用を含めた</b> 、施設の管理運営の効率化や計画的保全による維持管理コストの縮減、利用状況を考慮した施設総量の縮減、更新時における施設規模の適正化や集約化・複合化の検討など、 <b>資産経営とまちづくり双方</b> の視点に立った公共施設の適正管理を推進します。	○
43	71	第5章 計画の推進にあたって 2 計画の進行管理及び評価	「本計画のまちづくりを推進するとともに、取組みの効果を高めるため、データに基づき、進捗状況の管理及び評価を実施します。」とあるが、この文章は「基本計画のまちづくりを推進するにあたっては、その取組みの効果を確認するために、各実施計画での結果データを基にした評価をしながら、基本計画の進捗状況の管理を行います」という理解でよいか。 「実施計画の終了時に行う政策評価においては、取組みの進捗状況や市民の実感などを踏まえ、基本計画のまちづくりの評価と課題の抽出を行うとともに、取組みの改善につなげます。」と記載されており、この文章は、実施計画の終了時に行う政策評価により次の実施計画の取組の改善につなげると読めるが、そうだとすれば前段の文章と同じことを記述していると思う。 さらに3段落目の文章も前段と同様の趣旨を述べていると思われる。	該当の項目は、1段落目で基本計画全体に係る進捗管理と評価に関する考え方を示し、2段落目で実施計画（3年ごと）の政策評価について、3段落目で毎年度行う進捗管理や柔軟な見直しについて示すことを意図しておりますので、原文のままとします。	-
44	71	第5章 計画の推進にあたって 2 計画の進行管理及び評価	2パラ目の文章について、「市民の実感」という言葉に違和感があるため、修正いただきたい。 <修正案> 「実施計画の終了時に行う政策評価においては、取組みの進捗状況や市民の実感状況などを踏まえ～」または、「取組みの進捗状況や市民の評価などを踏まえ～」	本市の政策評価は、実施計画の取組みの進捗状況と、市民アンケートを通じて把握するまちづくりに対する市民の実感を、分析・評価することにより行っておりますので、評価方法がより伝わりやすくするため、以下のとおり修正します。 <修正案> 実施計画の終了時に行う政策評価においては、取組みの進捗状況や <b>アンケートにより把握する</b> 市民の実感などを踏まえ、基本計画のまちづくりの評価と課題の抽出を行うとともに、取組みの改善につなげます。	○
45	71	第5章 計画の推進にあたって 2 計画の進行管理及び評価	「市民の実感」「市民意見の分析」等の箇所、ぜひ「積極的に市民の意見を集める方策をとる」といった方針があると良い。パブコメや意見募集に気付かない方も多いと思う。	ご指摘の表現はいずれも、市民の実感や意見を積極的に把握し、課題の発見や取組みの改善に活かす観点から記載しているものです。 実施計画の策定にあたっては、公募市民を含む附属機関での審議や市民意見募集・パブリックコメントを実施する予定ですが、計画に基づく具体的な取組みの必要な段階において、また実施計画終了の段階で行う政策評価において、アンケートによる市民の実感や意見の把握・活用に努めて参りますので、以下のとおり修正します。 <修正案> 実施計画の終了時に行う政策評価においては、取組みの進捗状況やアンケートにより把握する市民の実感などを踏まえ、基本計画のまちづくりの評価と課題の抽出を行うとともに、取組みの改善につなげます。	○

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
46	72	第6章 まちづくりの総合8分野	まちづくりの総合8分野の記載順序は、P.72の表のように分野、分野目標、政策・施策とした方が混乱せず読みやすい構成になると思う。 冒頭、「政策分野を8つに分類し」とあるが、「政策分野」という文言がこの部分以外に見当たらないため、「政策」という言葉を削除しないと、政策体系に記載されている政策と混乱する。そのため、P.72の表のタイトルを“施策体系”ではなく、『まちづくり総合8分野の政策体系と施策体系』とすることを希望する。	ご意見のとおり、読み手が混乱せず読みやすい構成とするため、以下のとおり修正いたします。 <修正案> <b>まちづくりの基本方針に沿った政策に応じて取り組む分野を「まちづくり総合8分野」として整理し、それぞれの分野目標を設定するとともに、分野間の連携を図りながら、総合的かつ計画的なまちづくりを推進します。</b>  P72の表のタイトル <b>まちづくりの総合8分野における政策体系</b>	○
47	74	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	P74のように分野名の下に政策体系、政策及び施策の羅列は必要ないと感じる。 次頁の■分野目標■以下の内容を分野名の下に記載した方が、P.72の表に合うことになる。	本基本計画策定後に、広くその内容を市民の皆様にご覧いただくために計画書を作成する予定です。 計画書の作成にあたっては、文章の読みやすさ、分かりやすさに加え、視覚的な点も考慮していきたいと考えており、いただいたご意見は参考とさせていただきます。	-
48	74	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	動物公園を活性化していただきたい。 県内外から多くの人々が訪れる動物公園が千葉市の顔となるよう、魅力的な公園へと再編していただきたい。例えば、コンクリートに囲まれた猿山は、サルにとって住みやすい場所といえるだろうか。動物の身になって生活環境をつくっているチェコのプラハ動物園を参考にして、動物たちが生き生きと暮らす様子が見られて、動物をもっと身近に触れられる工夫をしてほしい。	魅力のある公園づくりについては、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けているところですが、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。 なお、動物公園では平成25年に策定しましたリスタート構想に基づき開園50周年（2035年）に向け、様々な整備を進めています。また、国内外含め、近年では動物にとって心身ともに幸福な状態へと近づける「動物福祉」の観点も重要視されています。千葉市動物公園もこれに準じ、来園者と動物たちが満足し過ごせる環境づくりに努めて参ります。	-
49	76	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	政策1について、地球温暖化は待ったなしの課題であるため、とても大切な政策だと評価する。	政策1について評価をいただきありがとうございます。ご意見のとおり、地球温暖化対策は重要であると認識しており、今後、実施計画等により取り組みを推進して参ります。	-
50	76	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	「施策1 地球温暖化対策の推進」について、今のところ市民から見て千葉市が地球温暖化対策に取り組んでいると自負できる場面がない。取り組みを実施していても、アピールの仕方が悪ければ市民には届かないため、地球温暖化対策は市民一人ひとりの行動からと言うメッセージを発信してほしい。具体的には、アンペアダウンの講習会などを実施してはどうか。 また、太陽光パネルの公共施設への設置が進んでいるが、家庭で取り組みやすくする施策が必要ではないか。再生可能エネルギーを導入する取り組みをもっと研究すべきである。	ご意見のとおり、地球温暖化対策にあたり、市民一人ひとりの行動変容は重要であると認識しております。 脱炭素化投資の促進や気候変動に対する行動変容の促進については、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
51	76	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	「政策1 脱炭素化を推進し、持続可能な社会を創る」と「施策1 地球温暖化対策の推進」は政策と施策が逆ではないか。「地球温暖化対策を推進し、持続可能な社会を創る」という政策の中に「脱炭素化対策の推進」という施策が入ることが適当だと思ふ。地球温暖化防止対策の施策の一つが脱炭素化であり、自然環境の保全やゴミの削減ではないか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> 政策1 <b>脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る</b> 持続可能な社会を創るため、脱炭素化を <b>はじめとする地球温暖化対策を推進するとともに</b> ～	○
52	76	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	「施策2 自然環境・生活環境の保全」について、生物多様性の保全はとても大切だが、難しいため子どもにも分かるようにパンフレットを作成してはどうか。そこから、色々な環境政策が進展すると思われる。 また、生活環境として、臨海部の粉じん対策を主な取り組みに追加していただきたい。	生物多様性の保全及び臨海部の粉じん対策も含めた生活環境の保全は、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
53	76	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	光化学スモッグが人体に悪影響を及ぼして健康被害をもたらすため、環境対策に留意していただきたい。	ご意見のとおり、持続可能な社会を創るためには、光化学スモッグ対策も含めた良好な生活環境の保全が重要であるとと考えており、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
54	78	第6章 まちづくりの総合8分野 1 環境・自然	公園の遊具を増設していただきたい。子どもも大人も体を動かせる遊具（うんてい等）を増やし、健康やコミュニケーションに役立つ公園にしてほしい。	公園施設の改修等については、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けているところですが、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-



千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
55	82	第6章 まちづくりの総合8分野 2 安全・安心	「地震等に対応した生活インフラの整備・管理」として、上水道および都市ガス管の耐震化も追記していただきたい。 また、「道路の長寿命化の推進」とあるが、道路の長寿命化とは具体的に何をするのか説明していただきたい。 加えて、主な取組みの「緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成」と「住宅の耐震改修助成」の違いを説明していただきたい。	持続可能な公共インフラの確保には上水道の耐震化も含まれますので、主な取組みの記載を以下のとおり修正いたします。 なお、市では都市ガス管を管理していないため、本計画では記載しないことといたします。 <修正案> ・橋梁・上下水道施設等の耐震化の推進 「道路の長寿命化」とは、橋梁や歩道橋などの道路施設について、損傷が軽微な段階で修繕を実施し、今ある施設を長く使うことです。長寿命化を推進することにより、重大な損傷が発生してから大規模な修繕や架け替えを実施するよりも費用の縮減を図ることができます。 次に、緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成とは、震災時の救急活動等のために、千葉市地域防災計画に位置付けられた千葉県が指定した緊急輸送道路の通行を確保するため、沿道建築物の所有者に対して耐震診断及び耐震改修等の費用の一部を助成するものです。 また、住宅の耐震助成とは、「昭和56年5月31日以前の耐震基準によって設計・建設された木造住宅の耐震診断、分譲マンションの耐震診断・設計・改修」及び「平成12年5月31日以前の耐震基準によって設計・建設された木造住宅の耐震改修」の費用の一部を助成するものであり、いずれの制度も耐震診断や耐震改修を含むものですので、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成 ・住宅（木造住宅・分譲マンション）の耐震助成	○
56	83	第6章 まちづくりの総合8分野 2 安全・安心	防災教育は必要だが、防災知識は幅が広く深い。千葉市内の施設だけでなく、市原市にある県の防災研修センターも大いに活用すべきである。	誰もが参加しやすい防災教育の充実など、市民の皆さまの防災意識・地域の防災力の向上を図ることが重要と認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
57	83	第6章 まちづくりの総合8分野 2 安全・安心	ハザードマップには、雨が降ると毎回のように通行止めになる場所や内水氾濫の場所などが反映されていない。また、ハザードマップを市民に配布しても、内容を理解し、活用できている者は少ないと思われる。 市の担当部局が自治会の会合で説明し、自治会長が町内の班長に説明することを実施してみるべきである。	地域防災力の向上につながる、市民の皆様の防災意識の高まりは重要であると認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
58	87	第6章 まちづくりの総合8分野 2 安全・安心	「自立した消費者の育成などにより、消費生活の安定・向上を図ります」とあるが、「自立した消費者の育成」は不適切な表現であり、施策3にある取組みでは達成することはできないと考える。「消費者相談を充実させることにより、消費生活の安定・向上を図ります」のような表現が適切と思われる。またP.87の施策3も同様である。	ご意見をいただきました『自立した消費者の育成』という表現は、千葉市消費生活条例第2条の基本理念に即したものであり、同条例第3条において、市は当該理念に基づいて消費者施策を策定・実施する責務を有するとされております。そのため、該当箇所の記述は原文のままとします。	-
59	87	第6章 まちづくりの総合8分野 2 安全・安心	相談について、利便性とともに「被害が分かれば対策もとれます」といった、消費者がポジティブに相談しやすい行政の姿勢があるとよい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> ・～利便性が高く、相談しやすい体制を整備し、消費生活の安定・向上を図ります。	○
60	88	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	都市生活を送るうえで、健康福祉都市が最も重要な条件の一つである。	ご意見のとおり、誰もが健やかに安心して暮らすことができるまちの実現は重要であると考えており、まちづくりの総合8分野『3 健康・福祉』の分野目標に位置付けております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
61	88	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	若年性認知症、または障がいが大人になって分かる場合、病気やけがで長時間の勤務が難しいなど、一般的に考えられている「就労」が厳しい方々もいる。それに対応する「ユニバーサル就労」等についての言及や積極的な制度導入の検討があるとよい。	若年性認知症や障害をお持ちの方の就労支援は重要であると考えており、まちづくりの総合8分野『3 健康・福祉』の政策2『高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る』の施策3『認知症とともに生きる社会の構築』及び政策3『障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る』の施策1『障害のある人への理解促進と社会参加の促進』に位置付けています。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
62	89	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「誰もが健康で活躍できる社会の構築は、市民一人ひとりが身体的・精神的にだけでなく、社会的にも満たされた状態とするためであるとともに、人口減少や少子高齢化が進行する中でも地域社会・地域経済が持続的に活性化していくうえで重要です。」と記載されている文章は、「市民一人ひとりが身体的・精神的に健康で活躍できる社会の構築は、人口減少や少子高齢化が進行する中でも、社会的にも満たされた状態を維持し、地域社会・経済社会が持続的に活性化していくうえで重要です。」の方が読みやすいと思う。	ご意見を踏まえ文章を以下のとおり修正します。 <修正案> 誰もが健康で活躍できる社会を構築することは、市民一人ひとりが身体的・精神的にだけでなく、社会的にも満たされるため、また、人口減少や少子高齢化が進行する中において、地域社会・地域経済が持続的に活性化していくうえで重要です。	○

千葉県基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
63	90	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「施策1 健康づくりの促進」の主な取組みに、歯周病検診と全世代に向けた食育を入れていただきたい。年齢を重ねても自分の歯で食べられることが健康を保つために重要であり、心身を健康に保つためにその時々に必要な食品を自分で選べるようにすることが、長い目で見ると医療費の削減につながると思う。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
64	90	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	高齢者に適した筋力維持、フレイル予防の知識や高齢者向けの食事・栄養に関する知識など、高齢者が自立した生活を送ることができる健康維持の啓蒙を早くから実施することが必要である。	高齢者を含めた市民の皆様様の健康づくりは重要と認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
65	90	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局などの普及・啓発」とあるが、この取組みの意図を説明していただきたい。「かかりつけ」とは、常時通院するクリニック等と理解しているが、診察を受ける病院を都度変えるな、または、大病院には行くな、ということか。	『かかりつけ医などの普及・啓発』は、受診する医療機関の変更や大病院への受診を否定するものではありません。病歴や体質などを把握し、身近な健康に関する相談先となり得るかかりつけ医等を持つことを普及・啓発しており、そのことを意図しております。病気を治すには、早期発見・早期治療が大事です。異常に気付いた際に、かかりつけ医等をまず受診することで、専門的な治療や検査が必要ときには、その症状に適した医療機関を紹介してもらうことができます。診療所と病院の役割分担により、市民が必要な医療を適切に受けられる環境を整備して参ります。	-
66	94	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「政策3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る」について、障がいのある方が地域で安心して暮らすためには、地域の方が障がいを理解することが大切である。まずは、障がいのある子どもと、ない子ども子どもと一緒に育ててこそ、障がいの有無に関わらず一人の人間として付き合うことができると思う。したがって、障がいのある子どもが地域の学校に通うことができるような環境の整備が必要である。特別支援学校のメリットも分かるが、地域の中で育つ方向に向け施策を進めていただきたい。	障害のある子どもとない子どもが共に学ぶ仕組みについては、まちづくりの総合8分野『4 子ども・教育』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
67	94	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	いつ何時、病气やけがで障がいを持つことになるか分からない。このため、P70の「6 まちづくりを進める力」の項目にあった「ジブンゴト」の精神を、この項目でも意識して考えてもらう、といったニュアンスがあってもいいと思う。また、『公務員一人ひとり「ジブンゴト」と思って活動します』といった姿勢がほしい。	ご意見のとおり、多様な主体や市職員が、地域の課題を『ジブンゴト』と捉えて取り組む姿勢は重要と考えております。『ジブンゴト』の精神を含む第4章の『まちづくりの基本方針』は、健康・福祉分野に限らず、まちづくりの総合8分野全般にわたり基本となる方針であることから、原文のままとします。	-
68	94	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	障害者にとっては、福祉制度もさることながら、自分を理解してくれるパートナーの存在がとても重要である。	ご意見のとおり、共生社会の実現にあたっては、障害のある方への理解促進が重要であると考えており、まちづくりの総合8分野『3 健康・福祉』に位置付けております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
69	94	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「施策1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進」の主な取組みに「障害のある方への理解の促進（福祉講話の拡充、ヘルプマーク等の普及・啓発、パラアスリートの学校訪問など）」とある。福祉講話も良いが、障がいのある人となない人が一緒にまち歩きをするイベントがよいと思う。話を聞くより不便さを共に体感することを多く取り入れていただきたい。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
70	96	第3章 現在の千葉市を取り巻く状況と2040年を展望した重要な社会変化 2 2040年を展望した重要な社会変化	医療技術の進歩により、重症心身障害があっても長生きできる社会になった。合わせて、親の高齢化が進み、在宅介護の限界が生じてきている。国はグループホームへ移行を促しているが、人工呼吸器使用や頻繁な入退院が生じる重症心身障害者には、医療の整った医療型入所施設が必須である。千葉市は桜木園があるが入所待機者が多く、対応が追い付いていない。医療的ケアのある重症児の在宅生活も短期入所利用によって続けることができる。超重症児者に対応できる医療型入所ベッドの増床を今から考えておかなければ、10年後には更に深刻な課題になると思われるので、検討をお願いしたい。	医療型入所施設への重症心身障害者の受入れ体制をはじめ、障害の程度や特性に関わらず、自らの意志や希望、能力に応じて、地域で安心して暮らせる環境を整備することは、重要な課題であると認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
71	95	第6章 まちづくりの総合8分野 3 健康・福祉	「施策3 障害のある子どもとその家族への支援の充実」について、医療の進歩により成人期以降も児童期と同様な生活支援が必要である。成人期以降も想定した切れ目のない支援を考えていただきたい。	施策3『障害のある子どもとその家族への支援の充実』は、主に成人期までを対象として整理していますが、成人期以降の切れ目のない支援としては、『3 健康・福祉』の政策4『住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会をつくる』の施策2『包括的な支援体制の構築』として取り組むこととしています。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
72	97	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	若い世代が魅力を感じる生活基盤と適齢期の男女の出会いがあったうえで、「子ども・教育」の分野が存在するはずであり、その視点から見ると「都市・交通」と「地域経済」の内容が不足している。 「都市・交通」では、若い世代が安心して活躍できる生活空間を確保する必要がある。住生活コストは資源高騰もあり、これからも上がり続けると考えられるが、収入はそれに対して十分に手当てされないため、ここに焦点を当てる必要がある。 「地域経済」では、既存事業者や資本を持つ人だけが恩恵を受ける施策が中心であり、若い世代の雇用創出や小規模スタートアップが生まれる環境整備についてあまり触れられていない。 また、「子ども・教育」では、その負担減について触れられていないため、負担が増えるのであれば若い世代が千葉市から転出する選択を迫られると思われる。「子ども・教育」は千葉市の未来の成敗を決める分野であるため、他市町村と同レベルの内容に加えて「千葉市ならではの」特徴がなければ、この基本計画は行政も市民も単なる読み物として陳腐化し、若い世代は千葉市を選ばない理由になるのではないか。他の市町村と同じであれば、浦安市や船橋市、都内の都市の家賃が安ければ、すぐにでも転出者が増加することになる。	ご意見のとおり、まちづくりの総合8分野『4 子ども・教育』の取組みの前提として、若い世代が本市に魅力を感じ、安心して住み続けられる環境を整えることは重要であると認識しております。 住環境・生活基盤の充実については『7 都市・交通』に、創業支援の強化、産業人材の育成については『8 地域経済』にそれぞれ位置付けているところであり、ご意見の内容については、今後の具体的な取組みの検討の参考とさせていただきます。	-
73	97	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	詰め込み教育を見直していただきたい。 人間を創る学校教育でも詰め込み教育は今も昔も変わっていない。千葉市が先駆けとなって身体や心とバランスのとれた教育に切り替え、考える人間を育てるべきである。また国際力を身に着けるべく、実際に使える英会話教育も必要である。	今まで以上に、価値観が多様で変化が激しくなることが予測される社会においても、子どもたち自らが柔軟に対応し、それぞれの未来に向けて個性を活かして羽ばたけるよう、未来を切り拓く力を身につけることが必要と考えており、まちづくりの総合8分野『4 子ども・教育』を位置付けているところですが、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
74	98	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	「目標達成に向けた課題」の冒頭に、政策1に掲げている「子どもを産み・育てやすい環境」を記載すべきではないか。子どもを育てる環境づくりは大事だが、まずは子どもを産める、産もうとする環境づくりが重要である。	ご意見のとおり、子どもを産める、産もうとする環境づくりは重要であると認識しておりますが、目標達成に向けた課題において、『子どもを産み育てたいと思える環境づくり』を記載しておりますので、原文のままとします。	-
75	99	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	「保育者の資質向上、人材の確保」に、「保育者の待遇改善」を加えていただきたい。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
76	101	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	エクセルワークシートのスキルは将来役に立つため、市がグラフ化してほしい地域情報を公表し、中学校や高校生のパソコンクラブなどで制作してもらい、「ちばシティポイント」を付与する取組みを行うことで、若者のエクセルのスキルを向上させてはどうか。 グラフがあると、市民にも自分が置かれている状態がどんなポジションにあるか数字で読むよりも明確に理解することができる。	新しい時代を生きる子ども達が、本格的なデジタル社会の中で未来を切り拓く資質を身につけるための学びが重要であると認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
77	101	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	「政策2 自ら未来を切り拓いて行くことができる子どもを育成する」について、政策実現のためには学校の先生が大事な存在であるため、先生方の負担軽減策を進めていただきたい。教員の増強や待遇改善、サポート人材の雇用などを具体的に盛り込んでほしい。 また、子どもの延長上にある若者施策がない。高校を辞めてしまった子どもや、卒業しても進学や就職できなかった若者、20歳を過ぎて生きがいとなる仕事を見つけれない若者など、悩み多き世代が忘れられている。コロナ禍で特に負荷が大きい世代についても、話を聞く場やお金をかけずに集まれる居場所などを施策に盛り込んでいただきたい。	教職員の働き方改革の推進については、まちづくりの総合8分野『4 子ども・教育』に、若者を含めた相談支援体制の充実については『3 健康・福祉』に、それぞれ位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
78	101	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	「キャリア教育」の用語解説を加えていただきたい。	ご意見を踏まえ、『キャリア教育』の用語解説を加えます。 <修正案> <u>キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。</u>	○
79	102	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	学齢期の生徒は学校でということだ思うが、例えば早い時間の夜間中学校に顔を出すことを認めるなどの対応は難しいのか。 また、ボランティアが行う学習支援に、外国人児童などが参加することもあると思うが、そういった活動への支援（コミュニティーセンターの部屋代補助など）を明示することで、市民にもその教育の一翼を担ってもらおうという方針を出してはいかかがか。	いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
80	103	第6章 まちづくりの総合8分野 4 子ども・教育	施策5の一部と類似するが、「主権者教育」も入れていただきたい。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-

千葉県基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
81	104	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	我が家はこんな家。 「家」は住んでいる人のすべてを表すといわれるが、垣根や扉が人の交流をはばんでいると気づいた私は、30年前に垣根や門扉そして雑草の生える生きた土の庭づくりに転換した。その結果だろうか、来客も多く笑顔や会話の多い場所となっている。	ご意見のような近隣住民をはじめとした交流が多く生まれることは、地域社会全体の活性化にもつながるものと認識しております。新たな交流・連携が生まれ、広がっていくような地域づくりに向け、基本計画に基づいたまちづくりを進めて参ります。	-
82	105	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	分野目標の「みんなでまちづくりをすすめる地域社会を実現します。」はとても良い目標であるが、目標実現のためには市民の力を育成する必要がある。公民館の社会教育主事はそのための人材であり、少しずつ増えていると聞いているので、これを活用し、各公民館で市民活動が活発になるような講座を開設したり、地域の中に入り、地域住民と一緒に考えていけるような取組みを実施していただきたい。	分野目標について評価をいただきありがとうございます。まちづくりの推進にあたっては、多様な主体の連携が重要であると認識しており、学びを生活や地域・社会に活かせる学習機会の提供を、政策2『多様な主体の連携によるまちづくりを進める』の施策1『生涯学習を通じた地域活動の推進』に位置付けているところです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
83	105	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	「年齢、性別、国籍、障害の有無、性的指向等に関わらず」とあるが、分野目標の目標達成に向けた課題において、【性的指向等】だけが記載されていないが、理由は何か。また、【性的指向】はLGBTとも関係するが、用語解説に加えた方が適切ではないか。	『5 地域社会』の分野目標の目標達成に向けた課題部分に、性的指向等の記述がないことは他の記述との整合漏れであるため、下記のとおり修正します。 また、性的指向に係る用語解説を追加します。 <修正案> ・市民一人ひとりが年齢や性別、国籍、障害の有無、性的指向等に関わらず～ <脚注> <u>性的指向：人の恋愛・性愛がどのような対象に向かうのかを示す概念をいう。恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指すなど、多様である。</u>	○
84	106	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	人口減少、少子高齢化対策として、いずれは移民ということに頼らざるを得ない時代が近い将来来ると思われる。高洲団地、幸町団地などに見られるように、外国人による「村」を形成して地元住民との垣根をつくらない仕組みを構築する必要ではないか。	日本人と外国人がお互いに言葉や文化の違いを認め、理解し合うことが、今後の地域社会において、一層重要な課題になるものと認識しております。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
85	106	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	LGBTをLGBTQに変更していただきたい。これによりまだ自分がどれにあたるのか、またはっきりと分かっていない人も含まれる。特に子どもに対して、「自分はこうだった」というのはいつ分かるか分からないので、急いで決めなくていいというニュアンスを加えられると思う。	ご意見を踏まえ、次のとおり脚注を修正します。 <修正案> LGBT：女性の同性愛者（Lesbian）、男性の同性愛者（Gay）、両性愛者（Bisexual）、「身体の性」と「心の性」が一致せず、「身体の性に違和感がある人」（Transgender）の頭文字をとった言葉で、性的少数者を表す言葉の一つ。 <u>性的指向や性自認が未定であることを意味するQuestioning（クエスチョニング）、あるいは性的少数者の総称 Queer（クィア）の頭文字を加えて「LGBTQ」と表現することもある。</u>	○
86	107	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	民生委員の業務の効率化などの実習等を公民館でやろうとしても、WiFiの利用環境が限定されている。公共施設におけるICT環境に関するニーズは今後ますます増えると思うので、早期に解決していただきたい。	現在、公民館やコミュニティセンター等には、「CHIBA CITY Wi-Fi（チバシティワイファイ）」という名称で整備したWi-Fi環境を提供しているところです。いただいたご意見については、今後の事業運営における参考とさせていただきます。	-
87	107	第6章 まちづくりの総合8分野 5 地域社会	「施策2 生涯学習を通じた地域活動の推進」について、生涯を通じた学びができる機会の提供は良いが、現状の記載では学んだ成果を必ず地域の課題解決に活かさなければならぬように感じられる。生涯を通じた学びの場を保障すること、学んだ成果を地域課題解決に活かしたいと思った人がそれを実現できるよう市が手助けすることは、切り離して考えていただきたい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> 生涯を通じた学びの機会を <b>拡充するとともに</b> 、その成果を還元できる場の提供を通じて、市民による <b>主体的な</b> 地域課題の解決を促進します。	○
88	109	第6章 まちづくりの総合8分野 6 文化芸術・スポーツ	「本市の特性である時間や空間のゆとりを活かし」とあるが、P.75には本市の特性として「緑と水辺」を提唱しており、これが一般的な千葉市の特性と理解していた。「時間や空間のゆとり」を千葉市の特性として提唱している刊行物があれば、教示いただきたい。P.43に特性として自然、利便性・ゆとり、拠点性・交流の記載がある。	『千葉市の特性』において、『5つのまちの宝』として市の特性を整理しており、時間と空間のゆとりについては、『（2）なんでもそろそろ・なんでもできる利便性と安らぎをもたらすゆとり』の中で記載しています。 なお、これらの特性は、今回の基本計画において初めて明記しています。	-
89	110	第6章 まちづくりの総合8分野 6 文化芸術・スポーツ	タイトルを文化財とした場合、文化財保護法に基づく重要なものと定義され、千葉市の文化財として、国指定の加曽利貝塚などの貝塚だけが強調されてしまう。文化財は他にも県指定、市指定などがあるが、せめて『千葉市都市アイデンティティ戦略プラン』で掲げている4つの地域資源は記載すべきではないか。	施策2『文化財の保全・活用』については、市内の文化財全般を対象とした取組みを想定していますので、原文のままとします。 なお、4つの地域資源の活用については、『7 都市・交通』政策1『持続可能で魅力あるまちづくりを進める』の施策3『地域資源の発掘・活用』として位置付けています。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
90	110	第6章 まちづくりの総合8分野 6 文化芸術・スポーツ	2022年2月に千葉市美術館で浮世絵に関する展覧会が行われていたが、同時期に東京でもボストン美術館コレクションの浮世絵関連の展示が行われていた。 東京では、歴史的出来事に関する保存状況の良い浮世絵が並んでいて壮観だった。一方で千葉市美術館は、浮世絵がどのようにヨーロッパに受け入れられていたのかや、浮世絵と他の絵画の違いが抽象的に語られていてとても面白かった。 題材は「浮世絵」だが焦点が全く異なり、お互いの展覧会でそれぞれの案内があれば素敵だったと思う。そのような他の団体の展示とのコラボや相乗効果を狙うような連携が行えるとよい。	市美術館の企画展をご覧いただき、ありがとうございます。 いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
91	112	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	【豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへについて】 街路樹を見直していただきたい。 大通りに植えられた街路樹は毎年枝葉が無様に切り落とされている。街路樹の身になると何とも恥ずかしく、みっともない姿である。街路樹の根元に植えられた花も枯れては抜かれ捨てられる。これらは「豊かな緑」「自然とともに」と真逆な行為であり、そして錆びれたまちとして強い印象を与えている。剪定の必要のない低木に植え替え、花は手入れの必要のないアジサイなどを植えた方がよいのではないかと。	街路樹については、「千葉市街路樹のあり方」に基づき、安全性の確保や道路空間への適合を考慮しつつ、適切な維持管理や樹種選定に努めているところです。また、地域を“花いっぱい”にするために、市民活動団体への花苗の配布等の取組みを行っております。 街路樹や花の管理については、まちづくりの総合8分野『1 環境・自然』に位置付けているところですが、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
92	114	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	主な取組みにある「空き家・空き地対策の推進」だが、根本的な問題として税制（固定資産税や相続税）がある。特に空き家だが、取り壊した場合は宅地の固定資産税が5～6倍高くなると聞く。家屋解体費も出費だが、固定資産税は宅地を所有している限り納税義務があるため、税制緩和が必要ではないか。	ご意見にありました税制緩和につきましては、今後の施策立案に向けた参考とさせていただきます。	-
93	115	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心の3都心を中心に」とあるが、主な取組みにおいては、「蘇我駅、稲毛駅など主要な駅周辺のまちづくりの推進」とだけあり、蘇我副都心のイメージが湧かないため、蘇我副都心構想を記載していただきたい。 また、中段に「官民の公共空間」という言葉があるが、特に「共有」は適切か。適切ならば、その意図するところを「ウォークアブル」に絡めて説明いただきたい。	施策2『3都心などの魅力向上』における記載については、冒頭で『千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心の3都心を中心に』と明記したうえで、主な取組みでは、各都心等におけるより具体的な内容を記載していることから、原文のままとします。 なお、ご質問のありました「官民の公共空間」についてですが、官民が連携してまちの空間資源を活用することにより、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指す取組みのことであります。	-
94	115	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	蘇我副都心への投資は再評価が必要ではないか。商業を集積したが、テナント各社は十分な収益が出ておらず、利用者の交通手段は大多数が車であり、予想した集客が実現できていない。周囲の住宅街も商業集積のターゲットになっていないことから、投資の回収が見込めないと考える。 また、蘇我駅周辺と蘇我副都心が離れており、施策による投資効果は相乗的にはならず、蘇我駅周辺の再開発や費用対効果を鑑みると実現性に乏しい。 これらを勘案すると、蘇我周辺の発展的な成長は望めず、投資資源を千葉駅周辺と幕張周辺に集中するとともに、各エリアの住生活環境整備に投資をすべきと考える。	蘇我副都心には、商業、業務、スポーツ・レクリエーションなどの諸機能が集積しているところであり、これらの資源を最大限活用するため、引き続き取組みを進めて参ります。	-
95	115	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「政策1－施策2 3都心などの魅力向上」について、千葉駅前から千葉銀座に向けてビルを立て替えが続いているが、マンションばかりである。千葉駅周辺の活性化グランドデザインが策定されているが、これにより地域が活性化されるのか疑問に思う。駅前をどのような街にしていけるか、誰が継続的に考えているかが見えない。 自慢できるようなまちづくりになっていないので、ぜひ市民参加で考える場をつくってほしい。	千葉駅周辺のまちづくりについては、まちづくりの総合8分野『7 都市・交通』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
96	117	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「政策2－施策1 持続可能な公共交通ネットワーク」について、高齢化で自家用車が使えなくなると交通難民になる。そうなる前に、地域の人たちが早くから自分の足を確保できるよう、市が地域の中に相談支援に入っていきべきである。地域公共交通会議はあるがハードルが高いので、一人からでも相談に乗ってくれるような仕組みを構築していただきたい。	高齢者に身近な移動手段の確保については、まちづくりの総合8分野『7 都市・交通』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
97	117	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「公共交通ネットワークの利便性向上（JR京葉線・りんかい線の相互直通運転、海上交通など）」とあるが、利便性を向上させるには利用者数の確保が必須であり、人口減少や他の施策に取り組むことで利用者の減少が見込まれ、民間企業としての使命もある中、エリアによっては廃止や減便などの利用者負担増は避けられないと思われる。そのため、移動手段としての交通機能維持を確保することが、利便性向上よりも重要性が高いと考えられる。 また、海上交通はアクセス可能なエリアや受益者が限定されるため、実施は民間企業に委ね、検討する者がいなければ不要ではないか。 「モノレール車両の低炭素化」は、「環境・自然」の分野で「公共交通機能の低炭素化」としてまとめるべきであり、持続可能な交通サービスとは関係ないと思われる。 「シェアサイクルの利用促進」については、シェアリングは自転車に限った話ではないため、他の手段のシェアリングについても追加した方がよい。 また、羽田新線については無関心なのか。2空港へのアクセス性を高める施策は避けて通れないと考える。加えて、議論が中々進まない新宿・渋谷・池袋へのアクセス改善も盛り込むべきではないか。 <修正案> ・持続可能な交通サービスの形成 （最低限の生活交通機能の維持、高齢者に身近な移動手段の確保、車や自転車などシェアリングエコノミーの促進、交通事業者間の連携強化など） ・公共交通ネットワークの利便性向上 （JR京葉線・りんかい線の相互直通運転、JR京葉線、総武快速線の羽田アクセス線直通、総武線快速線から渋谷・新宿・池袋へのアクセス改善など）	ご意見のとおり、持続可能な公共交通ネットワーク形成のためには、人口減少を見据えて公共交通を維持することが重要であり、これを踏まえ、主な取組みに生活交通の維持を位置付けているところですが、その他の具体的な取組みに関するご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
98	117	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	主な取組みに「公共交通ネットワークの利便性向上」を掲げているが、例として示されている「JR京葉線・りんかい線の相互直通運転、海上交通など」は、基本計画（案）に合致した取組みなのか。まずは、千葉市内の鉄軌道網や幹線のバス路線等で形成される公共交通ネットワーク関連を記載すべきではないか。	ご意見を踏まえ、括弧内の例示を以下のとおり修正します。 なお、『都市の力を底上げするネットワークを整備する』について、JR京葉線・りんかい線の相互直通運転は京葉線の利便性向上、輸送力の分散につながり、また海上交通については移動手段の多様化につながることから、それぞれ基本計画の方向性に沿ったものであると考えております。 <修正案> ・公共交通ネットワークの利便性向上 （公共交通のシームレス化、JR京葉線・りんかい線の相互直通運転、海上交通など）	○
99	117	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	成田エクスプレスのルートを活用し、総武快速線の埼京線への乗り入れを検討していただきたい。	現状、総武快速線の埼京線への乗り入れは検討していませんが、ご意見は参考とさせていただきます。	-
100	117	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	海上交通として、千葉港旅客船桟橋と稲毛ヨットハーバーを結ぶ旅客船の運航を検討していただきたい。	千葉港旅客船桟橋と稲毛ヨットハーバーを結ぶ旅客船の運航につきましては、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
101	119	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	施策のリード文に「暮らし・ビジネス・学び・まち・市役所など～」とあるが、大きなシーンの中に、市役所という言葉に違和感がある。 <修正案> 暮らし・ビジネス・学び・まちなどあらゆる分野や市役所など行政とのコミュニケーションで誰もが自然にテクノロジーを活用できる環境を整備することにより～	令和4年3月に策定した「千葉市スマートシティ推進ビジョン」では、「暮らし」、「ビジネス」、「学び」、「まち」、「市役所」の5分野においてスマートシティを推進しており、これを踏まえた記述としていることから、原文のままとします。	-
102	119	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	ドローンや電動キックボードをこれから10年間の基本計画に位置付けるのはいかかか。記載する場合でも、「安全性」の文言が必須である。	計画期間におけるテクノロジーの進展を予測することは困難であることから、これまで本市において取組みが進んでいるドローン等について例示しています。内容については原本文のままですが、ドローン・電動キックボードに限らず、新技術の社会実装にあたっては、安全性に十分留意して参ります。	-
103	120	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	現状、公共施設の適正配置や担当部署間の調整などに問題があるため、市の保有している現有資産・資源を、効率よく活用していくという意識改善が必要である。	資産の効率的な利用については、本計画71項に『将来にわたり持続可能な行財政運営』として位置付け、「千葉市資産経営基本方針」及び「千葉市公共施設等総合管理計画」等に基づいて具体的な取組みを進めていきます。	-
104	120	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「若い世代の流入促進や分譲マンション支援」とあるが、「分譲マンション支援」とは、誰に何を支援するのか。また、賃貸ではなく分譲とする理由は何か。	今後、築40年を超えるマンションの増加が見込まれており、建物の老朽化や、居住者の高齢化に伴う分譲マンション維持管理の担い手不足が懸念されています。管理不全マンションの対応には、多大な時間的・金銭的コストを要する恐れがあります。そのため、管理不全に陥らないために、管理組合へのアドバイザー派遣や長期修繕計画の作成等、合意形成の支援を想定しています。また、賃貸では事業者による維持管理が適切に行われるものと考えています。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
105	120	第6章 まちづくりの総合8分野 7 都市・交通	「施策2 持続可能な上下水道事業の推進」で、「下水道施設等の適切な維持管理及び計画的な改築更新により、持続可能な水環境づくりを推進します」とあるが、下水道に関しては水を使用している事業者や市民もできる限り水を汚さないで下水道へ流す努力をするべき。主な取組みに事業者への指導や市民への啓発も入れていただきたい。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
106	123	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「ニーズを的確に捉えた産業用地の整備とトップセールスも含めた民有地等も活用した企業誘致を行う」との記載について、「トップセールス」とはどのような意味か。市長を指しているのであれば、市長が民有地を活用する企業誘致を行うという理解で正しいか。	ここで言うトップセールスは、市長による企業誘致活動を指しており、企業活動の場としての千葉市の優位性をPRするものですが、『民有地等も活用した』と続くことで、文章の趣旨が不明瞭となっております。ご意見を踏まえ、誘致の具体的手法のひとつであるトップセールスに係る記述を削除し、以下のとおり修正します。 <修正案> ～ニーズを的確に捉えた産業用地の整備と、民有地等も活用した企業誘致を行うとともに～	○
107	124	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	主な取組みに「企業の人材採用力向上支援」とあるが、具体的方策を説明いただきたい。また、「学生の市内企業への就職支援（インターンシップの促進など）」も主な取組みとして掲げられているが、企業と学生のマッチング機会を設けることや〇〇企業に来てほしいと広報することは、市で行う必要があるのか。企業やその団体等の仕事と考える。	『企業の人材採用力向上支援』とは、企業における人材採用力の向上のため、従業員の能力開発に係る制度の整備を支援することにより、未経験者の採用促進や人材育成支援などに取り組むものです。また、『学生の市内企業への就職支援』は、優秀な人材の市内企業への雇用を促進するものであり、雇用の確保・拡大と市内企業の操業環境向上等に資するため、企業や関係団体と連携して取り組むものです。	-
108	124	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	学生以外の20代の若者に対する項目があまり見られない。その年代に限定しなくても構わないが、就職や生活支援を含めて魅力的に見える方策があればいいと思う。	若い世代に対する社会参加の支援は重要であると認識しており、まちづくりの総合8分野『4 子ども・教育』において、子どもの自立性・社会性・自治意識を育む環境整備を、『8 地域経済』において、就労・転職支援を位置付けています。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
109	125	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「ブルー（海辺）、グリーン（内陸部）、及び都心部」と記載されているが、ブルー、グリーンと表現する意図は何か。また、都心部の色付けはないのか。色を主にする表現は唐突で違和感があり、「海辺（ブルー）、内陸部（グリーン）、及び都心部（レッド）」など都市部を含めて色付けした方がイメージできると思われる。	本市では、これまで日本一の人工海浜を擁する海辺エリアを「ブルー」、緑豊かな都市公園・里山を「グリーン」として観光促進に取り組んできたことによる表記であり、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。なお、都心部の色付けは行っておりません。 <修正案> 海辺（ブルー）、内陸部（グリーン）及び～	○
110	126	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「政策3 農林業の持続的な発展を支える」について、新しい農業の担い手が増えている自治体は外部から人が移住しており、有機農業を始める人など、慣行農業ではないやり方を求めて参入してくる。千葉市もそのような担い手を呼び込めるよう、有機農業の研究や支援を具体的な施策に盛り込んでいただきたい。	意欲ある農業の担い手の確保・育成・支援については、まちづくりの総合8分野『8 地域経済』に位置付けているところであり、いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
111	126	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「農や森林が提供する」とあるが、農業ではなく「農」とする理由は何か。	「農」とは、土を耕して作物を作ることであり、生産した作物を販売して収入を得る経済活動の「農業」とは別のものです。いずみ地区を拠点とした都市と農村との交流など、農業だけでなく幅広い観点での取組みも想定しているため、「農」という表現を用いています。	-
112	126	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「政策3-施策1 農業の成長産業化」の主な取組みについて、「農政センターの機能強化」は取組みではないため削除すべき。取組みとは施策を実現するための具体的な行動を示すものであり、組織の強化は取組みではない。何かの取組みを行うために組織があるのであり、組織の機能強化は取組みではないと思われる。	令和4年5月27日に策定した千葉市農政センターリニューアールプランでは、農政センターのリニューアールの方向性として、「スマート農業実証フィールド化」「栽培試験・研修の強化」「農業技師の指導力の強化」の3つの方向性で機能を強化していくこととしており、これらの具体的な取組みを本基本計画においては、『農政センターの機能強化』と表現していることから、原文のままとします。また、これらの方向性の具体的な取組みの詳細については、実施計画において検討して参ります。	-

千葉市基本計画（案）に対する意見及び意見への考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
113	126	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「政策3-施策2農業の担い手の確保・育成」について、主な取組みに「市民の農業への理解と参画を促す」を記載すべきではないか。企業の参入や担い手の確保だけでは、これから減り続ける農業者の穴埋めはできない。市内には広大な農地があり、農業に興味のある市民も多く見込まれるため、市民の農業への理解と参画を促し、農業者を少しでも増やしていく施策が必要ではないか。具体的には、食育、農業体験、援農ボランティアなどの制度充実に向けた取組みを求める。	ご意見のとおり、広く市民が農業に関心を持ち、参画できる環境を整えることは重要であると認識しております。そのため、施策2『農業の担い手の確保・育成』において市内外を問わず担い手を確保するための取組みを推進していくことと併せ、施策3『農と森林が持つ多面的機能の保全と活用』の主な取組みにおいて、『都市と農村の交流促進』、『農業の教育分野への活用』を位置付けているところであり、市民の農業への理解を深める取組みも行って参ります。	-
114	127	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	最近、林業従事者不足から「森林」の管理が疎かになり荒れ放題になっていると聞く。林業後継者の育成を主な取組みに加えていただきたい。	森林の保全管理は重要であり、主な取組みに『森林環境の整備』を記載していることから、原文のままとします。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-
115	127	第6章 まちづくりの総合8分野 8 地域経済	「施策3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用」に、環境保全型農業の推進を追加していただきたい。農業の持続可能性を意識して肥料の削減や生分解性マルチを使うなど、従来の農業のあり方を少しずつ変えていくことに農業者が取り組めるよう、市として積極的にサポートしていただきたい。	主な取組みについては、施策ごとに想定される取組みを例示しているものです。いただいたご意見については、実施計画や今後の事業検討における参考とさせていただきます。	-